

産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和4年7月8日（金曜日）

午前10時 1分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前11時 2分 散会

付託事件

- (1) 令和3年陳情第6号
- (2) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 陳情審査

- ① 令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情

(2) 報告事項

- ① 市営駐車場指定管理者の公募について (商工課)
- ② 水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業について (火災予防課)
- ③ 消防車両の出動状況について (消防救助課)

(3) その他

2 出席委員（6名）

委員長	飯田正美君	副委員長	後藤通子君
委員	渡辺政明君	委員	内藤丈男君
委員	五十嵐博君	委員	安藏栄君

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議員 田中真己君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	長谷川昌人君	産業経済部参	川崎幹男君
産業経済部参事兼観光課長	小林一仁君	商工課長	榎崎芳明君
農政課長	後藤俊之君	農業環境整備課長	三村隆君
農産振興課長	永盛光郎君	公設地方卸売市場長	宮田正一君
消防局長	大内康弘君	消防次長	勝村俊則君

消防局参事	箕輪重美君	北消防署長	石田宏一君
南消防署長	猿田純夫君	消防総務課長	大信成人君
火災予防課長	河原井豊君	消防救助課長	高畠和巳君
救急課長	栗原政人君		
農業委員会 事務局長	横山英雄君	農業委員会 事務局次長	吉川正浩君

6 事務局職員出席者

書記	大内しおり君	書記	堀江良君
----	--------	----	------

午前10時 1分 開議

○飯田委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、陳情審査を行います。

当委員会に付託され継続審査となっております、令和3年陳情第6号 コロナ禍による米価下落の対策を求める陳情につきましては、本日のところは継続審査にいたしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 御異議なしと認め、継続審査といたします。

以上で、陳情審査を終わります。

次に、報告事項の説明を行います。

それでは、初めに、市営駐車場指定管理者の公募について、執行部より説明願います。

榎崎商工課長。

○榎崎商工課長 それでは、市営駐車場指定管理者の公募につきまして、商工課提出資料に基づきまして御説明させていただきます。

市営駐車場のうち、現在建設工事を進めております五軒町立体駐車場の管理、運営につきましては、指定管理者制度を導入することといたしまして、指定管理者の候補者の選定に向けまして、公募を実施するものでございます。

まず、令和5年4月からの供用開始を予定しております五軒町立体駐車場の概要でございますが、所在地につきましては、五軒町1丁目6番46号、水戸芸術館東側に隣接する場所となります。駐車台数は283台、鉄骨造地上5階建ての自走式立体駐車場でございます。

供用時間につきましては24時間。使用料につきましては、隣接する市営五軒町地下駐車場と同様でございますが、30分以内が無料、30分を超え1時間以内が200円、1時間を超え24時間以内が200円に1時間を超える30分ごとに100円を加算した額で、上限が700円となります。

次に、指定管理者制度導入の効果でございますが、1つ目といたしまして、市民サービスの向上、続いてページを返していただきまして、2ページ目となりますが、2つ目といたしまして、管理運営費の縮減が期待できるものと考えてございます。

続きまして、指定管理者の導入方針でございますが、選定方法としては公募、指定期間といたしましては、他の市営駐車場の指定管理期間の周期にあわせまして、令和5年4月から令和8年3月までの3年間とするものでございます。業務の範囲といたしましては、他の市営駐車場と同様に、保守点検、清掃等の維持管理業務、警備、誘導業務、使用料の徴収業務でございます。

業務に要する経費につきましては、3年間の指定管理期間における指定管理料の上限額を7,740万円とし、毎年度の指定管理料は、水戸市と指定管理者と協議いたしまして、年度協定において定めるものいたします。

候補者の選定につきましては、住民の平等利用の確保とともに、管理を安定して行う能力などの観点で審

査を行い、指定管理者の候補者を選定してまいります。

続きまして、3ページにまいりまして、今後のスケジュールでございますが、今月15日から公募を開始いたしまして、9月14日の締切りまでの約2か月間、申請の受付を行ってまいります。その後、庁内の選定委員会により候補者を選定いたしまして、12月の市議会定例会に指定管理者の指定と債務負担行為の議案を提出する予定でございます。

説明につきましては、以上でございます。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等ございましたら、発言をお願いします。

渡辺委員。

○渡辺委員 この五軒町の市営駐車場ですけれども、もう下がきれいになって、建築のほうがどんどん入っていくという段階になって、新市民会館同様の大事な施設として期待をしておるところでございます。

それで、今回公募するわけですけれども、今、指定管理をして水戸市が運営する駐車場があると思うんですけれども、それらの今の現状はどういうふうになっているのか。何か所がいわゆる指定管理者で、何か所がやっていて、水戸市直営とか、あとは公園協会とか、観光協会がやっているとかがあるところで、その内訳をちょっとまず聞かせていただけますか。

○飯田委員長 榎崎商工課長。

○榎崎商工課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

市営駐車場の管理に関しましては、現在この建設を進めております五軒町立体駐車場以外に、8か所市営駐車場がございまして、そちら全て指定管理者による管理となっております。

その内訳でございますが、6か所、具体的に申し上げますと、水戸駅南口広場駐車場、それから、本町駐車場、それから、五軒町地下駐車場、赤塚駅南口広場駐車場、それから、赤塚駅北口広場駐車場、内原駅北口広場駐車場、この6か所、こちらにつきましては、現在、国際警備保障株式会社、こちらのほうが指定管理者として市営駐車場の管理、運営を実施してございます。

それから、赤塚駅北口駐車場、こちら水府病院の隣にある駐車場でございますが、こちらにつきましては、水戸市商業・駐車場公社が指定管理者として管理を行っております。それともう1か所、常磐町駐車場、偕楽園の下にある駐車場でございますが、こちらにつきましては、水戸観光コンベンション協会、こちらが指定管理者として、駐車場の管理、運営を行っているというところでございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、今回のこの五軒町立体駐車場は、いわゆる公募をするわけですけれども、今言っている6か所以外の2か所を管理している観光コンベンション協会と駐車場公社も公募の対象に入るのか。

○飯田委員長 榎崎商工課長。

○榎崎商工課長 公募の対象には入ってまいります。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 これ5年契約でやっているよね。6か所が国際警備保障という会社、その会社が請け負っているわけだけれども、これ5年間の上限というのは、指定管理料は幾らになっているんですか。

○飯田委員長 榎崎商工課長。

○**榎崎商工課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

現在、国際警備保障が管理を行っています6か所の市営駐車場につきましては、令和3年度から令和7年度までの5年間で指定期間になっておりまして、こちら5年間の上限額につきましては、1億2,490万円となっております。

○**飯田委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** そうすると、約1億2,400万円かなということですから、これを6か所で割ると約1か所当たり2,000万円というようなことですよ。そうすると2,000万円割る5になるのか、1か所が2,000万円はこれ5年間でしょう、平均すると。すると、1年間は5年を5で割ればいいんだね、ただ単純に言えばだよ。大きさによって違うんでしょうけれども、そういう計算だよ。

今回は、これ3年間になるわけだよ。3年間の指定料の上限が7,740万円だから、これを3で割ると、約2,500万円ぐらいになっちゃう。これは大きいからかな。その辺のところはどうか、値段の設定とかは。

○**飯田委員長** 榎崎商工課長。

○**榎崎商工課長** ただいまの指定管理料に関する御質問でございますが、こちらやはり先ほど渡辺委員がおっしゃるように、単純計算でいきますと、1か所当たり年間2,000万円で6か所という形になりますけれども、やはり台数であったりとか、形状がかなりばらつきがございまして、このたび建設のほうを進めております五軒町立体駐車場につきましては、5階建てということで、平場の駐車場よりはやはり管理料が割高になると。あとは駐車台数につきましても283台という形になりますので、ほかの駐車場と比べましても、駐車台数が多いということで、このあたりの金額につきましては、台数はちょっと多いんですが、赤塚駅北口駐車場、こちら高層の5階建ての駐車場になっておりまして、こちらの管理料であるとか、あとは、他市の類似の事例、それから、現在指定管理を行っております会社から見積り等々いただいて、総合的に勘案して指定管理料のほうを現在設定させていただいたというところでございます。

○**飯田委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** これ3年間だから、この3年間が終わるということは、先にやっている6か所分の5年が終わる。終わりが一緒になるわけですよ。そうすると、今度その次の公募は、今度7か所で公募するという考え方でよろしいですか。

○**飯田委員長** 榎崎商工課長。

○**榎崎商工課長** ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

この指定管理期間をあわせた理由は、やはり3年後に一括して公募を行うということで、スケールメリットを生かすという考え方の中で、今回の指定管理期間を設定させていただいているところでございまして、今の6か所に加えまして、今回の五軒町立体駐車場が加わって、一括で指定管理者のほうをまた公募をするというような形になります。

○**飯田委員長** 渡辺委員。

○**渡辺委員** 委託になるわけだよ、業務も。私は常々安易な委託はよくないよと、丸投げしちゃって、あとはみんなそちらにお任せするとなると、当事者意識というものが非常に薄れてくるんで、やはりチェック

機能とか、そういうものをしっかり働かせていただきたいと考えております。

今回応募してくるのは何社ぐらい考えられますか。

○飯田委員長 檜崎商工課長。

○檜崎商工課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

なかなかちょっと想定が何社というのは、広く募集をさせていただくという中で難しいんですが、前回の公募に関しましては、2社の応募があったということですので、それと同等、もしくは、それよりプラスアルファの事業者が応募してくるのではないかというふうに考えてございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 いわゆる公正な競争をしていただくということで、なるべく多くの方に窓口を広げていただくとよろしいのかなと思っております。

業務の範囲内のことでひとつ聞きたいのは、警備、誘導業務の中の放置車両の対応とありますけれども、この6か所で今やっている中で、放置車両というのはあるんですか。

○飯田委員長 檜崎商工課長。

○檜崎商工課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

現状として、放置車両は、今市営駐車場にはございません。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 今、テレビのニュースなんか見ていると、何か放置されている車が駐車場に置きっぱなしになっていたり、平場なんだけれども、大変困っていると。この間ちょっとニュースで見たものですから、そういうことは、民間に委託している以上、しっかり対応していただくというようなことをお願いしておきたいと思います。

最後なんですけれども、この駐車場の問題で、私2つだけいわゆるこういう問題が発生するんじゃないのということと言っているのが、1点が前のびよんどじゃなくて何だっけ文化交流センターだっけ。

[「交流プラザ」と呼ぶ者あり]

○渡辺委員 文化交流プラザ、何回も名前を変えるから覚えられないんだよね。あその駐車場が無料になっているわけだよ、あそこに五軒市民センターが入っているんで。それとの整合性だよ。それをしっかり対応策を考えていただきたい。

あとは、出口の1か所が芸術館の出口と並ぶような、併設するような感じになっているんで、ましてや信号の近くなんで、その辺の安全対策をしっかり取ってほしいということを、もう一度その辺のところについての対応をお願いしておきます。これは担当課が違うんで、市民センターの管理のほうは。ですから、その辺のところできわゆる市民センターに来る方とかが混乱したり、また、いっぱいだから市営駐車場のほうに入って、何でこっちは金を取られて、こっちは取られないのとか、理屈とか何でも使っちゃうから、その辺のところしっかり理論的な武装もしておかないと、市民が混乱をされたりするもので、その辺のところについて、しっかり対策等を立てておいていただきたいと思います。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○**五十嵐委員** すみません、昨年11月25日の委員会でもちょっとお聞きしているかもしれないんですけども、1つは今回の駐車場について、本町なんかは誰も警備員さんはいないと思うんですけども、ここについては、警備員が常駐になるのか、それとも無人でやるのか、それが1点。

それともう1点は、先ほど五軒町地下駐車場と料金は同じということでお聞きしましたけれども、周辺の民間の駐車場との対比というか、その辺はどのようになっているのか、ちょっと2点聞きたいと思います。お願いします。

○**飯田委員長** 榎崎商工課長。

○**榎崎商工課長** それでは、ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

まず、今回新しく建設しております五軒町立体駐車場の警備員が常駐なのかという御質問でございますけれども、こちらにつきましては、基本的に管理人が1名常駐するというような形になっております。

また、混雑時、例えば新市民会館で大規模な催事があるですとか、そういった場合には、人員を増員して、そういった警備とか、交通誘導に当たるというような、今仕様の内容になってございます。

続きまして、周辺民間駐車場との相場ということでございますが、今回の料金設定に当たりまして、周辺の民間駐車場も料金等々調査のほうをしております。やはり上限料金についてはおおむね500円から600円の間というところが多くなってございまして、あとは時間当たりにつきましても30分100円ですとか、30分150円ですとか、そのように若干の違いはあるんですけども、大きくこの五軒町立体駐車場と料金体系が乖離するというような状況ではないというふうに認識してございます。

○**飯田委員長** 五十嵐委員。

○**五十嵐委員** ありがとうございます。

1名常駐するということで、安心なんですけれども、ちょっと300台を超える台数の駐車場ですし、バスなんか来るし、やはり先ほどおっしゃったように、イベントとかを予測して、1人だとちょっと対応が、トイレも行ったりしますし、いろんな問題も出てくると思いますので、その辺十分柔軟な対応をしていただければと思います。

以上です。

○**飯田委員長** ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○**飯田委員長** ないようですので、次に、水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業について、執行部より説明願います。

河原井火災予防課長。

○**河原井火災予防課長** それでは、水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念事業につきまして、消防局火災予防課提出の資料に基づきまして御説明いたします。

こちらは、延期になっておりました水戸市女性防火クラブ連合会創立30周年記念式典の開催についての御案内になります。

1の記念事業の趣旨でございますが、創立30周年を迎え、女性防火クラブ員が一堂に集い、相互の交流

を深めるとともに、クラブの健全な発展と火災予防思想のより一層の普及を図るものでございます。

2の記念事業、3の主催につきましては、記載のとおり変更はございません。

次に、4の記念式典につきましては、令和4年2月6日日曜日に予定していたものが、令和4年10月5日水曜日15時からに変更になりました。

会場につきましては、ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールで開催いたします。

参加人数につきましては、520名程度を予定しております。

式典の内容につきましては、2部制といたしまして、1部の式典では、31の全クラブの団体と各クラブの会長として10年、20年、30年と御尽力をいただいた方11名に感謝状の贈呈を執り行います。

2部のアトラクションにつきましては、幼年消防クラブ員の園児による演奏、高校生による書道パフォーマンス、女性防火クラブ代表による防火の誓いを実施してまいります。

次に、5の祝賀会につきましては、同日の18時からフェリヴェールサンシャイン2階のリシンキャッスルで開催いたします。こちらにつきましては、85名程度を予定しております。

次に、記念誌につきましては、30年の歩みや各クラブの活動等を記載してまいります。

開催に当たっては、マスクの着用をはじめ、記載の感染予防対策を講じた上で実施したいと思っております。

説明は以上でございますが、委員の皆様には後日案内状を発送いたしますので、お忙しいところ大変恐縮ではございますが、御出席くださいますようお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら、発言を願います。

渡辺委員。

○渡辺委員 常日頃、地域の防災活動に取り組んでいただいている女性防火クラブが、こういう顕彰されたり、祝賀会ができるというのは大変結構なことだと思っております。

それで、ちょっと私なんかも勉強不足なんですけれども、今、女性防火クラブという組織は、いわゆる1学区に1つずつあるということでもいいのかな。何団体で、構成されているのは何人ぐらいいるのか、それちょっと聞かせてください。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

女性クラブの組織の数なんですけど、現在は31クラブ、人員にして7,558名のクラブ員がおります。各学区ということなんですけれども、今31学区なので、ないクラブ等もない学区等もあります。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ありがとうございます。

31学区ということだけでも、今内原を入れて34ぐらいになっているかなと思うんですけども、7,558人というのは、これは単純に計算して、1団体が何人ぐらいで組織されているのか、これ。100人としたって3,100人でしょうよ。だからこれが200人で6,000人だよ。そういうことだよ。そんなに1クラブいるんですか。いやいいんだよ、雑駁でいいですから。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

女性防火クラブ員なんですけれども、多いところと少ないところの差が激しい状態でございます。多いところにつきましては、500名を超えるような状態なんですけれども、少ないところにつきましては30名程度というところもございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 500人もいるところがあるんですか。ちょっと初めて数字を聞いたんで、驚いて心強くしているんですけども、こんなに大勢の方たちが御協力いただいているということで。

いいですよ、500人いても、その人たちがしっかりそういう意識を持って取り組んでいただいていると。常日頃、火災予防課のほうで御指導いただいているでしょうから、やっぱり協力してもらっているということに感謝の気持ちを持つということも、我々も含めて感じるべきなのかなと。

それで、記念式典には520人だよ。あそこの会場のザ・ヒロサワシティ会館は今、五十嵐委員に聞いたら1,514人入るんだよ、満席で。これ520人で、コロナ対策もあれなんだろうけれども、寂しくないの、大丈夫なのか。これ500人ぐらいで。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの渡辺委員の御質問にお答えいたします。

たしか会場のほうなんですけれども、かなり広い状況ではございますが、座席等のある程度指定しまして、後ろの方は空いている席になるんですけども、参加の方はある程度の距離を取って座っていただきまして、感染防止を図りながら実施してまいりたいと思います。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 分かりました。

コロナ対策で一つずつ席を空ければ2分の1になっちゃうんで、1,500人だから700人ぐらいの座席になるかと思うんですけども、やはり式典をただ単に形式的にやるということではなくて、本当に感謝しているんだという気持ちが籠もるような式典にぜひしてあげてください。やっぱりややもすると、そういうものが何か形式的に流されちゃうということがあるので、やはり日頃の御尽力に対する感謝というようなことが伝わるような式典にさせていただくと大変ありがたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思いません。

以上です。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 ちょっと二、三方お尋ねをしたいと思います。

先ほど31学区という話ありました。おまけに内原の話まで出てきたんで、34学区ですよ、市民センター関係は。残っているところは内原関係なのか、ちょっとだけ確認させてください。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏委員の御質問にお答えいたします。

内原につきましては、1つのクラブになります。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 多分妻里学区の中の1集落の防災クラブが、すばらしい数の人だと前から聞いているんですけども、これだけ市内で女性防火クラブがある中で、できれば、どこでもそういうふうな組織があればいいと思うんですけども、その何か働きかけというか、そういうことは特別していないのか。あるいは環境的に難しいという話はあるんですかね。できれば、34学区あるんだったら、全てにあればいいなと思います。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏委員の御質問にお答えいたします。

クラブの加入なんですけれども、今のところ、クラブのいわゆるそういうようなことは、ちょっと今のところ難しいかなということがあります。クラブ員数も、ここ数年ちょっと減っておりますので、なかなか増員というのも、ちょっと今のところ、常時募集はしているんですけども、なかなか難しいというのが実情でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 ちょっと関連してなんですけれども、女性防火クラブ員、女性の消防団員、そして、女性の消防職というんですか、多分3つあると思うんですよ。私も以前議会の一般質問で、女性の消防団員が水戸にいなかったんですよ、最初。私もひたちなか市の消防署のほうから、その数をちょっと聞いて、議会で質問した覚えがあるんですけども、それから、この防火クラブ員とはちょっと関係ないかも、関連あるんでしょうけれども、女性が関係している消防組織の中の内訳、ちょっと聞かせてもらえますか。

○飯田委員長 高畠救助課長。

○高畠消防救助課長 ただいまの安藏委員の御質問にお答えします。

消防関係で女性が関する団でございますのは、水戸市消防団、女性消防団員という組織がございます。この女性の消防団員の方は、各水戸市内の団に所属しております。現在女性消防団員の数は9名です。

以上でございます。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 そうすると、これは、他の市町村と比べて、女性消防団員の数というのは、1人から9人に増えたという経過はあると思うんですけども、相対的にどうなんでしょうね。それで、この連合会の話の中で、この方々は今回の式典には、まるっきり別だから関係ないということなのか、あるいは何かの関与はされるのかということをお聞きください。

○飯田委員長 質問はわかりますか。

河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏委員の御質問にお答えいたします。

女性消防団員の参加につきましては、今のところ考えておりません。

○飯田委員長 安藏委員。

○安藏委員 最後にします。すみません。これも初めて聞いたんですけども、幼年消防クラブというのが出ていますけれども、これだけちょっと教えていただいて質問を終わります。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの安藏委員の御質問にお答えいたします。

今、幼年消防クラブ員の数は、市内で37クラブありまして、クラブ員につきましては1,801名。

○飯田委員長 幼年消防クラブは何だっている質問だよ。もう一回。

河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 幼年消防クラブにつきましては、幼少期から火の用心に対して、園児のほうに火遊びをしない等の教育を行っているような状況でございます。

○飯田委員長 ほかに。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 ちょっと概況補足で教えてもらいたいですけれども、先ほどのちょっと確認なんですけれども、31クラブあるということで、内原は1か所あるということで認識したんですけれども、ない地区もあるのでしょうか。それで、合同とかそういうものはないのかどうか、ちょっと水戸市内の全地区にこの女性防火クラブがあるのかどうかというのをちょっと確認させてください。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

女性防火クラブなんですけれども、全地区にはないような状況でございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 それは、先ほど来あります、ちょっとやる方がいないとかということでないんですか。それとも、何か理由は。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 以前、やはり小学校区のほうに、設立というような形でお話をしたことがあるんですけれども、設立に至っていないところ等もございます。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 このクラブ員になれる資格というか、条件というのを、ちょっと勉強不足なんで、教えてもらいたいんですが、あと年齢制限とか、定年があるのかどうかというのを。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 女性防火クラブ員につきましては、特に資格等の制限等はございません。誰でも、特に年齢制限のほうもありません。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 分かりました。

女性防火クラブに限らず、出初式でパレードなんかに来てお見受けするんですけれども、日常日頃の活動というのはどんなことをしているのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 ただいまの五十嵐委員の御質問にお答えいたします。

女性防火クラブ員の活動につきましては、春、秋の火災予防運動においての、以前は広報のチラシ等を行っていたんですけれども、コロナ禍においては、マイクでの広報等を行っております。あと、地区での防

災訓練において、非常食の作製や、あと、防火チラシの配付、あと、今お話がありました出初式のパレード、あとは、出初式において、防災コーナーでの活動、ほかにクラブ員が研修や、あとは全体的な研修を行っております。

○飯田委員長 五十嵐委員。

○五十嵐委員 ありがとうございます。

たまたま私、たしか20周年のときに参加させていただいたという記憶があるんですけども、やはり今のお話のように、日頃から意識を持って市民の安全のために活躍していますので、これ10月、またいろいろ状況は分かりませんが、何とか記念式典ができますように頑張りたいと思います。

以上です。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ちょっと関連でひとつ聞いておきたいんですけども、さっき、安藏委員さんのほうから幼年消防クラブ演奏というのが入っていて、幼年クラブ、これ各保育所を通して、いわゆる防火の意識の啓発を行っているということだと思うんですね。それはそれで非常に結構なことなんですけれども、これ、小学校とか中学校には、そういう防火クラブみたいなものはないんですか。

○飯田委員長 河原井火災予防課長。

○河原井火災予防課長 水戸市におきましては、小学校等にはございません。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 せっかく保育園でこうやって教えているんだから、保育園の子どもらは小学校へ行くわけだから、クラブを結成しないまでも、一般の事業を通して、防火とか、火の恐ろしさとか、そういう防火にまつわるようなそういう啓発はなさっているかと思うんで、今後、やはり小さいうちからそういうものの恐ろしさとかをしっかりと教えるということは、三つ子の魂云々と言っているように、小さいときのそういう勉強とか、また知ったこととか、体験したことは、大人になっても忘れないというようなことがありますので、今後ともしっかり子どもたち、小学校、中学校の子どもたちにも、そういう運動を展開していただければというようなことを意見として述べておきます。

以上です。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○飯田委員長 ないようですので、次に、消防車両の出動状況について、執行部より説明願います。

高畠消防救助課長。

○高畠消防救助課長 それでは、消防車両の出動状況について、消防救助課提出の委員会資料に沿って御説明をいたします。

5月の委員会において、自動火災報知器の誤作動による消防車両の出動状況について御質問がございました。本日委員会において、出動件数並びに自火報に係る出動について、報告をさせていただきます。

お手元にあります資料、消防車両の出動状況について、1、過去3年間における消防車両の出動状況の上段、令和元年を御覧ください。

1 段目に種別があります。火災、救急活動支援等の災害種別を記載しております。

2 段目に出動件数、3 段目に全出動件数の割合を記載しております。

また、資料の下には、災害種別の内容を記載しておりますので、あわせて御参照ください。

令和元年の表に戻り参照願います。

令和元年表、右側の合計 4,063 件の出動がございました。火災につきましては 116 件で出動件数全体の 2.86% でございます。次に隣の救急活動支援ですが、3,330 件で全体の 81.96%、年間出動件数の 8 割を占めている状況でございます。同じ行の真ん中にあります自火報鳴動につきましては、109 件で全体の 2.68%、自火報鳴動につきましては、毎年 100 件を超える件数で発生をしております。

以下、令和 4 年 6 月 22 日現在の件数を記載しておりますので、後ほどお目通し願います。

次に、裏面の 2 ページを御覧ください。

2 の自動火災報知設備の鳴動に係る指令の一部変更についてでございます。

(1) 通報内容に伴う出動指令の変更について、御説明をいたします。

災害を判断するのは、119 番の通報者による情報、内容を聴取し、通信指令員が火災なのか救急なのかを判断し、出動指令がなされます。

表の(1)にあります通報内容のうち、上段にあります自火報が鳴動し、通報者から、火、煙が出ているなど、火災の兆候がある場合、火災で指令がなされます。

建物火災への出動する消防車両の台数については、下の表(2)を御覧ください。指令ごとの出動計画です。

火災の区分中高層建物火災、3 階以上の場合、消防局では 8 台、消防団 1 台の計 9 台の消防車両が出動します。3 階未満の火災につきましては、はしご車を除く 8 台が出動いたします。

いま一度、上の表(1)にお戻りください。太枠で囲った部分が通報内容により指令変更があったところでございます。

中段、自火報が鳴動し、火災の兆候なし、または不明ですが、ベルが鳴動しているが火災の兆候がない場合、変更前は火災指令で指令が流れていましたが、変更後は自火報鳴動の指令に変更になりました。

下の段、自火報は鳴動しているが、火災の事実がないことを確認しているという通報内容で、感知器の誤作動やいたずら等によって火災の事実がないことが判明している場合がございます。自火報鳴動で出動していたものが、変更に伴い調査に変更されました。

いま一度、下の表(2)に戻っていただきます。

自火報鳴動の区分の中高層建物は消防局が 3 台、建物は 2 台、消防団は出動いたしません。

通報内容により指令が変更されたことで、出動する消防車両の数が減ったとお分かりいただけると思いますが。

以上のことから、今まで火災指令で出ていたものが自火報鳴動になり、出動する消防車両の台数が 5 台減ります。このことにより、災害に備える限られた消防力の有効活用ができます。また、消防職、団員の身体的負担の軽減につながると考えます。

この自火報鳴動に係る出動指令の一部変更は、(3)令和 4 年 6 月 6 日から運用を開始いたしました。

資料の説明は以上でございます。

○飯田委員長 内容について、何か御質問等がございましたら、発言をお願いします。

渡辺委員。

○渡辺委員 私が5月でちょっと質問したのがきっかけになっているので、私のほうで、この表のほうの見方から聞かせていただきたいと思います。

この1ページのほうなんだけれども、令和元年火災が116件で、自火報鳴動が109件となっていますけれども、これはいわゆる火災の116件というのは、119番で電話がかかってきたと、携帯から入ったとか、そういうのが116件なんですか。

○飯田委員長 高島消防救助課長。

○高島消防救助課長 渡辺委員の御質問にお答えいたします。

この116件というものは、火災として確認された数でございますので、通報後に火災なのか、自火報鳴動なのかというのは、指令内容によって指令がなされます。その後、火災でなければ、この116件に含まれておりません。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 そうすると、この116件は本当の火災と、火が出たものなんですね。こっちの自火報鳴動のほうは、誤作動が109件あったという考えでいいんですか。

○飯田委員長 高島消防救助課長。

○高島消防救助課長 委員の御質問にお答えします。

先ほど委員のおっしゃったとおりでございます。116件が全て火災でございます。そして、109件の自火報鳴動については、全て火災の事実がなかったという案件でございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 ありがとうございます。

令和2年を見ると、本当の火災が69件で、誤作動が115件で、全然誤作動が多いですね。その件で、実は私が質問したわけですよ。完全の装備をして、みんな消防の方が、ただ火災報知器が鳴ったというだけで出動していたんで、これを度々していたんでは、本当の火災のときにそれが支障になることもあるんじゃないかということで、消防の方自体も、その都度その都度完全装備で出るわけですから、負担が多いというような気もしていたんで、それが裏のページを見ると、今度はこういうような形で、いわゆる団員さんの出動の回数も減って、また、緊急の場合は本当に総力を挙げることができるというような体制ができたというふうには感じております。このようなところで、誤作動が多いということは、これ機械の性能が良すぎるんだらうと思うんだけど、ちょっとしたことで感知しちゃうということで、ですから、その辺のところの兼ね合いが非常に難しいところなのかなと思うんで、今後もこの状況、6月6日から運用開始となって、運用開始されたと思うんで、しっかりチェック機能を働かせながら、この運用がどうなのか、そういうところもしっかり精査していただければと思います。

それと、ちょっと同じような火災の119番通報なんですけれども、この間、つい昨日だか、四、五日前かな、a u通信障害が起こって、例えば救急車両呼ぶのにも全然通じなかったとか、いろんな問題がこの通

信障害によって起こったんですね。a uですから、加入しているだけで全てではないと思うんですけども、約3,900万回線と言っていますから、これは大変な数ですよ。ですから、いろんな人々の使い方があ
るわけですね、この携帯の場合。それが全然機能しなかったということで、大きな問題になったと思うん
です。社会的な問題になったと思うんですけども、今回どうなんですか。この通信のほうで、実は救急車
を呼んだけれども、来なかったという方もいるし、この前なんですけども、今回のこの事故の前に、うちの
町内会で79歳の方がお一人住まいの男性なんですけども、携帯持っていますよね。それで熱中症になっ
ちゃったんですよ、うちの中で。たまたま携帯があったので、119番通報して、意識が幾らかあるうちに
やったんで、通報したんで、協同病院さんに救急車で搬送されて、熱中症なんで1日半ぐらいで出てきたん
ですけども、やはり通信障害なんかで、連絡できないと、あつという間に干からびちゃうんですよ。だ
から、今回、この水戸市のほうの通信、広域でやっているわけですけども、その辺のところの何か障害が
あったかどうか。問題点があったのか、その辺のところについて、まずお聞かせいただきたいと思いま
す。

○飯田委員長 箕輪消防局参事。

○箕輪消防局参事 ただいまの渡辺委員のKDDIの通信障害による119番通報への影響の件でございま
すが、こちらのKDDIの通信障害に関しましては、2日の土曜日の午前1時35分から4日月曜日の午後
3時まで、こちらKDDIの発表がございましたことから、その間におけます影響でございしますが、通報者
から携帯が繋がらないので、別な手段、要はお隣の固定電話であったり、公衆電話、あとは消防署に駆け
込んでの通報、そういった手段で通報したと、当事者から申告があったものですけども、そういったもの
が7件、それと、昨年指令センターを御視察いただいたので御存知でしょうが、大きなモニターがあって、
119番がどこからかかっているかというのが分かる表示がございまして、例えば水戸a uとか、ドコモと
か出るんですけども、そのa uという表示があったもので、指令員が応答したんですけども、相手が応
答しない、要は音声が届かない、または切れてしまう、そういったものが8件、あわせまして15件が指令
センターといたしまして影響があったと確認が取れている事案でございします。

この間約61時間ございましたが、全体の通報件数は1,148件でございましたので、割合といたしま
しては低いというところですよ。

また、いずれの事案も、その後、各管轄消防本部から問合せ等が入ってございませぬので、救急業務への
支障もなかったと認識しております。

なお、一部の報道で、110番が1割程度減少したといった報道がありましたが、当指令センターにおき
ましては、前後数日間の通報を比較いたしましても、そのような変化はございませぬでした。

以上でございます。

○飯田委員長 渡辺委員。

○渡辺委員 やっぱり我々の水戸でも、茨城県といったほうがいいのか、そういう障害が起こったというこ
とで、利便性の向上を図るデジタル化というのが、意外と落とし穴があるんだなというようなことを改めて
感じたところですよ。やはりこれは命に関わるような問題で、むしろこの連絡が取れなかったなんていうこ
とで、お亡くなりになったなんていったら、これえらいことなんですよ。やはり我々もどちらかというと、
利便性にどっぷり今つかっちゃっているんで、もしものときとかをあまり考えなくなっちゃっているんです

よね。ですから、やっぱり今後は、これは国全体、行政全体の考え方なんでしょうけれども、バックアップ体制をどうするんだとか、そういうのもこれから考えていかないと、やはりそれにおんぶにだっこになっちゃうと、こういう通信障害が、これがドコモだったらこれの倍の回線はあったと思いますよ、不都合が。ですから、そういう部分で、これは消防さんのほうは一生懸命やってくれたというようなことで、それでも15件ぐらいあったというようなことなんで、そういうバックアップ体制とか、そういうのについて、今後考えていかなくちやいけないのかなと改めて感じたところでございます。

いずれにしても、夏の暑いところ、消防、救急、本当に大変な御尽力をいただいているということなんで、改めて感謝申し上げます、私のほうの意見とさせていただきます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

五十嵐委員。

○五十嵐委員 すみません、ちょっとこの表を見て、ヘリ支援とあったので、ぱっと見て私も慌て者なので、何か搜索願いで探しているのかなと思ったら、ヘリがグラウンドとか公園に離着するときの支援なんですね。これはドクターヘリというふうに考えていいですか。そのほかに何かヘリが来ることがあるんですか。

○飯田委員長 高島消防救助課長。

○高島消防救助課長 五十嵐委員のただいまの御質問にお答えいたします。

ヘリ支援といいまして、まず、ヘリ支援というものは、先ほどのおり、市内の校庭やグラウンドにヘリコプターが離発着する際の消防隊による安全管理及び砂などが舞ってしまう場合の水を散布したりするものでございます。

ヘリコプターにつきましては、ドクターヘリ、また、県防災ヘリ、あと、他県のヘリもありますので、あらゆるヘリに対しての支援を行う出動でございます。

以上でございます。

○飯田委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 ないようですので、次に、その他に入ります。

委員より何かございましたら、発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○飯田委員長 以上で、執行部に関連する事項等についての審議を終了しましたので、執行部の皆様におかれましては、御退席願います。

〔執行部退席〕

○飯田委員長 次に、この際各種役員の選出についてを議題といたします。

本件につきましては、小泉委員が水戸市議会議員を辞職されたことに伴い、各種役員に欠員が生じたため、御協議をいただくものでございます。

お手元に当委員会の各種役員の一覧表を配付いたしましたので、御確認願います。

このうち、小泉委員を選出しておりました各種役員は、水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員、水戸市公設地方卸売市場運営協議会委員、一般財団法人水戸市農業公社理事の3つでございます。

それでは、選出方法等につきまして、御意見等がございましたらお願いします。

○渡辺委員 副委員長さんは入れないのか。

○飯田委員長 入れます。

○渡辺委員 入れるんでしょう。入ってもらったほうがいいんじゃないか。

○後藤副委員長 はい。

○内藤委員 この空いているところに、全部入っちゃったらいいでしょうよ。みんな2つ3つ入っているんだもの。

○安藏委員 もうこれ以上たくさんだっぺ。

○飯田委員長 今、渡辺委員が3つで、内藤委員、五十嵐委員、安藏委員が2つ入っているんですよ。

○渡辺委員 じゃ、五十嵐委員さんが入っていないから、五十嵐委員さんどっか入れればいいんじゃないか。公設地方卸売市場運営協議会に入れればいいじゃない。

○飯田委員長 誰か言ってもらったほうがいい。

○内藤委員 じゃ、渡辺委員代表して言って。

○渡辺委員 水戸市まち・ひと・しごとの方の委員さんに後藤副委員長さん、それで、公設市場に五十嵐委員さん、農業公社理事に後藤副委員長さん。

○後藤副委員長 はい、分かりました。

○渡辺委員 あれ、安藏委員さん入っているのけ。農業公社理事に入っているのけ。

○安藏委員 いや、ここ1人だから入っていないですよ。いいですよ、後藤副委員長さん熱心だから後藤副委員長さんで。

○渡辺委員 じゃ、後藤副委員長さんに入ってもらって、これでどうでしょうか。

○後藤副委員長 はい、分かりました。

○飯田委員長 じゃ、今の感じでいいですか。もう一回確認しますからね。

それでは、選出結果について御確認いたします。

水戸市まち・ひと・しごと創生有識者会議委員につきましては後藤通子副委員長、それから、水戸市公設地方卸売市場運営協議会委員につきましては五十嵐委員、一般財団法人水戸市農業公社理事につきましては後藤委員を選出することといたします。

それでは、以上をもちまして、本日の産業消防委員会を散会します。

御苦労さまでした。

午前11時 2分 散会